



---

受験者ハンドブック

**WELL AP<sup>TM</sup>**

2017年7月更新

<b>受験登録</b> .....	<b>3</b>
登録	
受験資格要件	
監査	
試験実施時の特別措置	
受験料	
<b>試験</b> .....	<b>5</b>
試験の作成	
試験方式	
試験の言語	
試験のメンテナンス	
<b>試験前チェックリスト</b> .....	<b>6</b>
準備はよろしいですか	
試験のセキュリティ	
試験センターで必要なこと	
身分証明書の要件	
試験センター規則	
試験センターからの退場処分の理由	
<b>受験後</b> .....	<b>8</b>
試験結果	
試験の合格	
資格の認定	
認定書	
資格維持プログラム	
試験内容への異議申し立て	
受験者情報の保護	
<b>試験仕様</b> .....	<b>10</b>
仕様	
参考資料	
サンプル問題	
<b>問い合わせ先</b> .....	<b>18</b>

# 受験登録

## 登録

1. 現在のサイトユーザーアカウントを使用して [WELL Online](#) にログインします。ユーザーアカウントをお持ちでない場合は[新規に作成](#)してください。
2. 入力されている氏名が、試験センターで提示する身分証明書の氏名と一致していることを確認します。一致していない場合は、[サイトユーザーアカウント](#)の "settings" (設定) で氏名を更新します。これは特に複数の氏名を使用する受験者（ニックネームを使用する人や、地域によって異なる氏名を使用する人など）に該当する場合があります。試験の少なくとも 5 日前までに GBCI® で氏名を更新してください。氏名の更新について何か問題がある場合は、[GBCI に連絡](#)してください。\*
3. [WELL AP™ 試験の受験登録](#)を行い、画面の指示に従って申込書に記入します。
4. [prometric.com/gbci](#) のページが開いたら、試験日時と試験場所を予約します。
5. 試験が予約されたら、画面に確認番号が表示されます。また、プロメトリックから確認番号を記載した電子メールが送信されます。
6. 確認番号をメモしておきます。プロメトリックのウェブサイト ([prometric.com/gbci](#)) で予約の確認、キャンセル、または変更を行う場合、この確認番号が必要になります。
7. 試験の予約が完了したら、プロメトリックから受け取った確認通知を印刷します。印刷した確認通知は、試験についてプロメトリックに連絡する場合に備えて保存しておきます。

試験セッションの予約は、登録と受験料の支払いの完了後 1 年間可能です。試験が不合格だった場合、当初と同じ方法で再度登録することができます。ただし、試験に 3 回不合格になったあと 90 日間は、GBCI への新たな登録申請はできません。登録料は受験のたびに支払う必要があります。

IWBI の受験料払い戻し / 日程変更ポリシーについては、[こちら](#)をご覧ください。

5 名以上の受験者を一度に予約する場合は、[カスタマーサービス](#)にご連絡ください。

\* アルファベット以外の文字を使用する言語を母国語とする受験者は、受験登録時の氏名の入力に必ずアルファベットを使用してください。アルファベットで氏名が表記されているパスポートなどの身分証明書を、試験センターに必ず持参してください。

## 受験資格要件

GBCI は、WELL AP を受ける受験者が、受験前に教育コース、ボランティア、または実務経験を通じて建築環境の健康とウェルネスを取り巻く概念に直接触れることを推奨しています。

受験可能な年齢は 18 歳以上です。

すべての受験者は [Disciplinary and Exam Appeals Policy \(懲戒と試験異議申し立ての方針\)](#) と資格維持要件に同意する必要があり、監査時に情報を要求された場合は快く提出しなければなりません。

## 監査

GBCI は、現在または過去のすべての受験申し込みについて、いつでも（申込書提出前と資格認定後を含む）監査を行う権利を留保します。受験者の [WELL Online](#) アカウントに登録されている情報は、監査されることがあります。また、WELL AP による提出情報や主張について、追加文書の提出を求められることがあります。さらに、上記の監査において [Disciplinary and Exam Appeals Policy](#)（懲戒と試験異議申し立ての方針）、GBCI の方針、または法律に違反する行為が発見された場合、GBCI は懲戒措置または法的措置（資格の剥奪を含みますが、これに限定されません）を取る権利を留保します。

## 試験実施時の特別措置

受験者に通常の試験環境では WELL AP 試験を受験できないような障害があり、それが文書で証明されている場合は、特別措置を申請できます。GBCI は「障害をもつアメリカ人法」(Americans with Disabilities Act、以下 ADA) を遵守しています。ADA のもとでは、標準試験を管理運営する組織は、障害を持つ受験者が受験可能な場所と方法で試験を実施しなければなりません。そのため、試験の実施方法に妥当な変更を加えなければならない場合があります。GBCI の試験実施企業であるプロメトリックは、試験結果の妥当性が根本的に変わるような場合を除き、受験者に適切な補助的支援やサービスを提供します。適用可能な特別措置には、代読者、代筆者、試験時間の延長などが含まれます（ただし、これらに限定されません）。

特別措置が必要な場合は、登録時に "Yes, I need special accommodations"（はい、特別措置が必要です）チェックボックスを選択してこれを明示する必要があります。特別措置を申請するには、受験者が [Candidate Form](#)（[受験者用申請書](#)）に、担当の医療提供者が [Provider Form](#)（[医療従事者用申請書](#)）に、それぞれ障害の詳細と必要な特別措置を記入します。特別措置による受験料の追加徴収はありません。各申請は個別に審査されます。

GBCI は上記書類を審査し、これを承認した場合、必要な特別措置についてプロメトリックに注意を促します。特別措置を申請した場合は、申請が承認されるまでの間、プロメトリックとの予約をすることはできません。特別措置の申請の承認状態については、電子メールで連絡されます。

## 受験料

受験料については、[wellcertified.com](http://wellcertified.com) を参照してください。支払い済みの受験料は、1回の受験に対してのみ有効です。

# 試験

## 試験の作成

WELL 認定プロフェッショナル（AP）は、WELL 認証プロセスを支援するために必要な知識と技能を持つ個人です。妥当な試験の作成は、WELL APとしての職務を十分に果たすために必要な知識、技能、および能力を明瞭簡潔に定義することから始まります。WELL AP 試験は全世界の内容領域専門家（SME）のネットワークによって作成されており、職務分析の仕様を満たしています。試験仕様をこのような専門家の厳しい検証にさらすことで、意図された評価項目を測定できる効果的な試験を作り上げることができます。試験の運用が開始された後は、信頼性を継続的に確保するため、試験問題が定期的に見直されます。

試験では、「知識」、「応用」、「分析」の3段階の認知レベルで受験者の能力を評価します。

- ・ **「知識」の設問**：試験の参考資料と類似した文脈で提示された現実的な事柄を想起する能力を評価します。
- ・ **「応用」の設問**：試験の参考資料に記載されているよく知られた原則や手順を使って解決可能な架空の問題やシナリオを提示します。
- ・ **「分析」の設問**：問題を複数の構成要素に分解して解決策を導き出す能力を評価します。受験者は問題の要素を個別に認識するだけでなく、各要素の関係や相互作用も評価しなければなりません。

## 試験方式

WELL AP 試験は無作為に提示される 100 問の選択式問題で構成されており、これを 2 時間で解答します。

試験問題には、採点対象の設問と採点対象外の設問が含まれています。試験全体を通してすべての設問が無作為に提示されます。採点対象外の設問がどれかは受験者に知らされないため、受験者は全設問に解答する必要があります。採点対象外の設問は、将来の試験への採否を決定するための正答率データの収集を目的としています。

試験はコンピューターで実施されます。試験問題と選択肢は画面に表示されます。コンピューターが受験者の解答を記録し、試験時間を計ります。受験者は、解答を変更すること、問題を飛ばすこと、後で見直す問題にフラグを付けることができます。

試験中、設問にコメントを残したいことがあります。その場合は、試験中に画面上のナビゲーションバーにあるコメントボタンをクリックしてコメントを追加してください。試験の終了後、試験にコメントを残したことを [GBCI に知らせてください](#)。その際、試験の申し込みに使用した電子メールアドレスと試験を受けた日付を必ず記載してください。

試験は 2 時間 20 分を予定してください。試験時間の内訳は次の通りです。

- ・ 10 分間のチュートリアル（任意）、2 時間の試験、10 分間の終了後アンケート（任意）。
- ・ 受験者が試験終了前に試験場から退出した場合、試験の再開はできません。この場合は試験を放棄したと見なされ、受験料は返金されません。

## 試験の言語

この試験の第1言語は英語です。英語版原本の内容と翻訳版の内容が矛盾する場合、または試験についての異議申し立てがあった場合は、英語版の内容が検討の根拠となります。翻訳版はあくまで非英語圏の受験者のための補助的なものです。翻訳版は現在、中国語、フランス語、日本語、スペイン語が用意されています。試験中の翻訳機または外国語辞書の使用は認められません。試験時間は延長されません。

## 試験のメンテナンス

WELL AP 試験は毎年見直されます。正答率に基づいて設問が評価され、正答率が低い問題は削除されて別の問題に置き換えられます。これは試験の統計的な信頼性と妥当性を維持するために行われています。

世界中の試験センターにメンテナンスプロセスが展開されるため、毎年6月15日～6月30日の期間には試験は実施されません。

## 試験前チェックリスト

### 準備はよろしいですか

#### 試験1か月前

[WELL Online](#) アカウントに登録した氏名が、試験センターで提示する身分証明書の氏名と一致していることを確認します。(次ページ参照)。氏名が一致していない場合は受験できません。またその場合の受験料の払い戻しはありません。

#### 試験1週間前

試験の日時と場所が正しいことを確認します。正しくない場合は、[WELL Online](#) アカウントにログインして試験日程の変更方法または試験のキャンセル方法を調べてください。

## 試験のセキュリティ

WELL AP 試験の健全性確保のため、試験内容の開示を禁じる以下の守秘義務契約を読み、これに同意していただく必要があります。

- 問題と正解は GBCI の独占所有物です。
- 試験と設問（問いと回答）は著作権法で保護されています。試験の全体または一部を複写または複製することは、暗記を含むいかなる手段によっても禁じられます。
- 受験後に試験内容を討議または公開することは、口頭、書面の他、いかなる手段によっても禁じられます。
- 試験の設問の盗用または盗用未遂には、法に定める最大限の罰則が科されます。
- 上記規定に違反した場合、試験は受けられません。

## 試験センターで必要なこと

試験予約時間の少なくとも 30 分前までに試験センターに到着することを推奨します。試験開始予定時間を過ぎて到着した場合、試験は受けられません。

受験者が個別のワークステーションに移動する際には、試験センターのスタッフが必ず付き添います。試験センターのスタッフの許可がある場合を除き、試験中は着席したままでいなければなりません。下記の場合、手を挙げて試験センターのスタッフに知らせてください。

- ・ お使いのコンピューターに問題が生じた場合
- ・ コンピューターの画面にエラーメッセージが表示された場合（エラーメッセージは消去しないでください）
- ・ 休憩が必要な場合（試験時間は中断されません）
- ・ その他の理由で試験センターのスタッフが必要な場合

## 身分証明書の要件

受験者は、署名と本人の写真があり、有効期限の記載された、有効期限内の適正な身分証明書を提示しなければなりません。次のようなものを身分証明書として使用できます。

- ・ 政府によって発行された写真・署名付きの現行の身分証明書
- ・ 写真・署名付きの現行のクレジットカード
- ・ 署名のない写真付きの現行の身分証明書と、署名付きクレジットカード 1 枚。ただし、両者の氏名が一致していること

有効期限内の写真付き身分証明書の例を次に示します。ただし、これら以外のものも使用できます。

- ・ 運転免許証
- ・ パスポート
- ・ 軍の身分証明書
- ・ 在留外国人身分証明書 / 居住外国人カード\*

\* この身分証明書に写真は付いているが署名がない場合は、同じ氏名の署名付きの身分証明書（クレジットカードなど）と合わせて提示する必要があります。

詳細については、[プロメトリックのウェブサイト](#)を参照してください。

使用できない身分証明書の例としては、有効期限の切れたもの、有効期限の記載がないもの、(米国の) 社会保障カードなどがあります（ただし、これらに限定されません）。

## 試験センター規則

試験センター内では、プロメトリックの保安規則に従わなければなりません。詳細については、[プロメトリックの FAQ（よくある質問）](#)を参照してください。



## 試験センターからの退場処分の理由

不正行為に関与した受験者、または不適切な行動の中止を求める試験監督者の警告に従わなかった受験者は、試験会場からの退場処分、試験結果の無効処分、またはその他の処罰を受けることがあります。詐欺や虚偽申告などの受験に伴う不正行為は、固く禁じられています。

GBCI は、事件についての受験者の報告とプロメトリックの報告の両方を検討し、その結果に基づいて裁定を下します。GBCI の裁定を求めるには、正式な異議申し立てを GBCI に電子メールで送信してください。この段階で Credentialing Steering Committee（認証運営委員会）が審査し、当該事件の最終裁定を下します。

## 受験後

### 試験結果

WELL AP 試験は 125 ～ 200 点の点数が付けられます。**合格には 170 点以上が必要です。**試験結果は、試験終了時に画面に表示されます。また、試験結果の写しが電子メールで送られます。

試験結果は試験日時から 72 時間以内に処理され、受験者の資格アカウントが更新されます。

### 試験の合格

#### 資格の認定

WELL AP 試験に合格すると、「WELL AP™」の肩書きとロゴの両方または一方を使用できます。詳しい手引きについては、[IWBI Trademark Policy \(IWBI 商標方針\)](#) の "WELL AP" のセクションを参照してください。

#### 認定書

試験結果が処理されたら、ご自分の [WELL Online](#) アカウントから認定書をダウンロードできます。

#### 資格維持プログラム

資格維持に関する情報については、[CMP Guide \(CMP ガイド\)](#) を参照してください。

### 試験内容への異議申し立て

問題内容に技術的な不備があると考えられる場合、受験者は試験終了後にコメントを提出できます。その際、ご自分の連絡先、試験日、問題に関する具体的な懸念事項を記載し、試験中に問題にコメントを残した場合はそれについても記載してください。GBCI は問題を再検討し、結果を受験者に知らせます。

試験の保全の必要性から、試験問題または正解は受験者に開示されません。GBCI は、試験日から 10 日経過後に受け取った苦情または異議については対応いたしません。また、GBCI 以外の組織に送られた苦情についても対応いたしません。

GBCI はいかなる状況においても試験点数の修正はいたしません。受験者が試験の内容について申し立てた異議が認められた場合、受験者には再受験の機会が与えられますが、点数の変更はありません。WELL AP になる唯一の方法は、必要な試験において 170 点を取得することです。



## 受験者情報の保護

GBCI は、受験者が個人情報をコントロールする権利を認めています。GBCI の方針は、受験者個人情報の不正な暴露を防止するよう考えられたものです。受験者は、[WELL Online](#) の個人設定を更新することで、自分の基本設定を変更できます。

自分の点数を誰に知らせるかを受験者自身がコントロールできるようにするため、試験の点数は受験者本人と GBCI の指定スタッフにのみ明かされます。GBCI は、研究目的で匿名の情報を提供する場合を除いて、試験点数を公開しません。受験者の点数は、受験者の書面による同意を得て公開する場合を除き、常に秘密が保持されます。全設問正答率、個人データ、人口動態データなどの WELL プロフェッショナル試験に関する公式統計は、秘密情報と見なされます。ただし、GBCI はこれらのデータに基づき、個人を特定不可能な統計情報を公開する場合があります。

# 試験仕様

## 仕様

以下に、WELL AP 試験の試験内容の分野について概説します。

ナレッジドメインは、WELL Building Standard のコンセプトと認証プロセスを反映しています。

### ▶ ナレッジドメイン

#### 1. 空気 (13 問)

##### A. 人の健康

- i. 空気質が人の健康やウェルネスに及ぼす影響
- ii. 建物および製品のライフサイクル全体にわたる浮遊汚染物質の発生源と媒介物、および人への暴露の経路
- iii. 浮遊汚染物質に関連するリスクレベル
- iv. 浮遊汚染物質に関連する急性および慢性疾患を取り巻くリスク因子と保護因子

##### B. 戦略

- i. 設計、建設、運用の各段階で問題を防ぎ、室内空気質を向上させるための戦略
- ii. 屋外空気質を評価するための戦略（地域差）
- iii. 室内空気質を経時的に評価・維持するための戦略（地域差）
- iv. 人が浮遊汚染物質にさらされるのを最小限に抑えるためにリスク評価の原則を適用する方法
- v. 材料ライフサイクル、材料仕様、材料の成分表示規則（仕様書の読み方を含む）

##### C. 運用

- i. 発生源抑制方法と汚染除去方法の違い
- ii. 主要な汚染物質クラスを管理する方法と、それらが建物の特徴からどのように発生するか（例：微生物、ガス、粒子）
- iii. 建築外皮からの漏れ、洪水、結露に関する問題の原因と結果
- iv. IAQ 手法および技術の改善とメンテナンス

## 2. 水 (8 問)

### A. 人の健康

- i. 水質や水の入手しやすさに関連する疾病の世界的負担
- ii. 水源の汚染物質によって引き起こされる健康問題に関連するリスク因子

### B. 処理と管理

- i. 源水、供給水、および現場での使用の検討を区別する方法 (例: 飲料水、ユーティリティ水)
- ii. 配水網におけるリスク因子
- iii. 暴露の経路を評価する方法 (例: 感染、化学物質への暴露)
- iv. 飲料水へのアクセス方法
- v. 水質緩和オプション
- vi. 水に関連する危険やリスク (例: カビ、レジオネラ菌)
- vii. どの設備がどの評価項目の対象となるかを識別する方法

## 3. 食物 (8 問)

### A. 人の健康

- i. 食物に関連する疾病の世界的負担 (例: 肥満、心血管疾患、糖尿病)
- ii. ボディマス指数、栄養成分表示、一人前の分量
- iii. 加工食品、ある種の脂肪、人工的原材料、砂糖、砂糖入り飲料の摂取が健康に及ぼす影響

### B. 戦略

- i. 食品生産の戦略 (例: ガーデニング)
- ii. 健康的な食行動を促進するための戦略 (例: 文化、教育、休憩室スペース、食器類のサイズ、食品成分の透明性)
- iii. プロジェクトの状況に基づいて評価項目を適用するための戦略 (例: カフェテリアを設けるかどうか、台所設備、フードコート / 飲食売店の出店に関する賃貸契約の作成、独立したレストラン、心豊かな食事スペースを作る)
- iv. 健康的な食品の選択を促進するための戦略 (例: 動線、アクセスしやすさ、場所)

### C. 設計、運用、管理

- i. 食品安全性の基礎 (例: 食品汚染源、調理、責任ある取り扱い、保管)

- ii. コントロールポイントに関連付けられた実施および運用要件（例：冷蔵）
- iii. 代替手段の管理（例：地域社会によって支えられた農業、カフェテリア以外の方式の業者）

#### 4. 光（11問）

##### A. 人の健康

- i. メラノピックルクスとサーカディアン機能の関係
- ii. サーカディアン機能のための光、精神的なウェルビーイングのための光、視覚のための光の違い
- iii. サーカディアンリズムやその他のウェルビーイングの利点をもたらすエネルギー効率の高い方法としての昼光
- iv. 光を受けることの良い影響と悪い影響
- v. サーカディアンシステムの混乱に関連するメカニズム

##### B. 測定基準と技術

- i. 仮想モデルまたはその他の手法を使用して照明の質を評価する方法（例：コントラストモデル、個別制御、調整戦略、グレア制御）
- ii. 照明の質の特徴を識別する方法（例：照度、輝度バランス、グレア制御、色の品質、ちらつき、明順応、非視覚的強度）

##### C. 戦略

- i. 昼光照明のさまざまな特徴（テストや性能など）の検証方法
- ii. 照明ツール（従来の照度計やその他の測定ツールなど）と設計ソフトウェア
- iii. 昼光や電灯に関連する設計および検証戦略

#### 5. フィットネス（8問）

##### A. 人の健康

- i. 運動不足に起因する疾病の世界的負担
- ii. フィットネス、運動、活動的なライフスタイルの利点
- iii. 日常生活での座りっぱなしや運動不足の悪影響

##### B. 戦略

- i. 設計特性によって行動の変化をもたらすための戦略（例：調節可能なデスク、調節可能な椅子、オフィス動線 / 移動）

- ii. 各類型（テナント改善、建物全体、コア&シェル）の加点項目によってフィットネスを向上させるための戦略
- iii. 職場内外で使用者の活動性を促進するための戦略

## 6. 快適性（10問）

### A. 音響

- i. 身体的ストレスまたは環境ストレス（妨害など）と音響的快適性に対する影響との関係
- ii. 音響的快適性に関連する測定基準（例：NRC、NC、STC、残響時間）
- iii. さまざまなスペースや活動に適した、音響的快適性を最大限に高めて騒音苦情を最小限に抑える設計戦略

### B. 温熱

- i. 建築環境が温熱快適性に及ぼす良い影響と悪い影響
- ii. 温熱パラメータや温熱快適性の測定と湿り空気チャートの解釈
- iii. 温熱快適性を向上させるための戦略（例：職場での使用者によるコントロール、行動 / 使用者が望む場所への移動、適応的な温熱快適性モデルの適用）

### C. エルゴノミクス

- i. 使用者の快適性を向上させるさまざまな介入の違い
- ii. エルゴノミクスの欠如に関連する筋骨格疾患の世界的負担（例：座位、デスク、立位）

## 7. こころ（9問）

### A. 人の健康

- i. 精神的健康に関連する疾病の世界的負担（例：ストレス、鬱病、不安、生産性の低下）
- ii. 人の健康に対する心理的および社会的なウェルビーイングの重要性

### B. ストレス軽減

- i. こころの平安を高めるストレス軽減戦略（例：自己モニタリング、家族サポート、睡眠ポリシー、仕事サポート）
- ii. ウェルビーイングの促進を狙いとしたポリシーを開発する方法（例：健康給付金プログラム、家族の世話に関するポリシー）
- iii. 環境ストレスや心理社会的ストレスの源と管理（例：知識 / 教育によって力づける、意識、材料の透明性、組織の透明性）

### C. 透明性

- i. ILFI の JUST プログラムや GRI のサステナビリティレポーティングフレームワークに準拠して組織の透明性（社会的公正の実践）を評価する
- ii. 適切な内装仕上げ、システム家具、座席を選択し、第三者の情報開示（例：宣言ラベル、HPD）を活用して従業員がこれらの情報をすぐに入手できるようにする

### D. 美しさとバイオフィリア

- i. Living Building Challenge の Beauty and Spirit Imperative（人間の幸福、文化の賛美、精神の賛美、場所の賛美、パブリックアートの有意義な融合）
- ii. バイオフィリアの概念と、環境要素、照明、および空間レイアウトによって自然を取り込むバイオフィリア計画を作成することで設計全体に自然のパターンを取り込み、建物内部および外部スペースで人間と自然との相互作用の機会を提供すること
- iii. 特定の計画によって美しさをどのように取り込むかを記載した説明書

### E. 適応性に優れた空間：設計とポリシー

- i. 気を散らす刺激を減らし、プライバシーを促進する設計原理（例：指定ゾーン、間隔、照明、騒音基準）
- ii. 職場での休息を支援するためにスペースと家具のオプションを統合する方法
- iii. 妥当な睡眠時間の間仕事の義務を制限し、睡眠関連行動をモニタリングする機器 / ソフトウェアに対して補助金を支給する健康的な睡眠のポリシーを評価または推奨する方法

## 8. WELL 認証（10 問）

### A. 計画と準備

- i. WELL Building Standard の構成（例：コンセプト、必須項目、評価項目、WELL 認証のレベル、採点）
- ii. 法規および他の認証システム（例：WELL とグリーンビルディング / その他の建築法規や他の認証システムとの関係）
- iii. WELL Building Standard をどのような建築分野やプロジェクト類型に適用できるか
- iv. 類型や市場別にプロジェクトの必須項目や評価項目を特定する方法
- v. 代替適合手段
- vi. 認証プロセスにおける性能検証の重要性
- vii. テナントの責任と建物オーナーの責任

## B. WELL 認証の実施

- i. WELL プロジェクトチームに必要な専門知識と、プロジェクトチームの活動を連携させる方法
- ii. ステークホルダーシャレットを開催して戦略的なプロジェクト目標を定める方法（使用者のニーズについて話し合う、獲得を目指す WELL コンセプトを実施するための計画を立てる、ウェルネスに関連する運用・保守計画を準備する）
- iii. 提出プロセスに必要なリソースを特定する方法（例：WELL アセッサー、建築家、インテリアデザイナー、安全性 / 環境コンプライアンスオフィサー、ウェルネスコーディネーター、MEP エンジニア、音響コンサルタント、室内空気質検査ラボ、水質検査ラボ）
- iv. WELL 評価項目の基準を満たすための変数の計算（例：加点項目合計と達成した加点項目、測定単位、仕様書、測定基準）
- v. 性能検証の対象となる評価項目を識別する方法
- vi. 設計を超える測定可能なパフォーマンス指標が必要な評価項目を識別する方法（例：ポリシー、教育、行動）
- vii. 入札プロセスを進める際に WELL 評価項目が確実に含まれるようにする方法
- viii. 標準的な建物と WELL に準拠している建物の相違を特定する方法
- ix. 性能検証に合格しなかった場合の対応方法と、適切な是正手順を特定する方法
- x. 建物認証を維持するための要件

## C. WELL の提唱と推進

- i. 健康的な建築環境の価値（例：プロジェクトの質、一貫性、建物性能、スタッフの定着、ユーザーアウトカムの向上、使用者の健康やウェルネスの向上、マーケティング / ブランディングの機会）と、そのような建築環境をステークホルダーに伝えるための戦略
- ii. 健康的な建築の実践を実践するクライアントに対するインセンティブタイプの基本的なカテゴリ
- iii. WELL およびグリーンビルディングを支援するために財務分析を使用する方法（例：投資利益率、トリプルボトムライン、生産性の増加、戦略を実施するための価値提案）



## 9. 相乗効果（8問）

### A. 競合とトレードオフ

- i. WELL Building Standard で扱われるすべてのコンセプトの間の相乗効果（例：材料と空気質、快適性・エネルギー・光、フィットネスと心豊かな食事）

### B. 適用と教育

- i. WELL Building Standard の個々の評価項目に対するプロジェクトチームの役割と責任
- ii. オーナー、プロジェクトチーム、ユーザー、その他の主要ステークホルダーに対して WELL 評価項目の重要性を教育する方法

試験には採点対象外の問題が 15 問含まれています。

## 参考資料

WELL AP 試験の主要な情報源は WELL Building Standard® です。以下に示す参考資料の一覧は網羅的なものではありません。試験仕様と組み合わせることで、試験の基となる材料、資料、情報が得られます。

### WELL AP 試験

この試験は、建築環境における人の健康やウェルネスの全般的知識と WELL プロジェクトで働く他の専門家を支援する方法を問うように作られています。

### 参考資料

- [WELL Building Standard](#)、バージョン1 — 2017年1月版追補を含む、International WELL Building Institute (IWBI)、2017年。
- [WELL Building Certification Guidebook \(WELL 建物認証ガイドブック\)](#)、バージョン1 — 2017年1月、International WELL Building Institute (IWBI)、2017年。

## サンプル問題

**免責条項：**以下に示す試験問題（以下「設問」とします）は新規試験の作成中に廃棄されたものです。

これらの設問は、試験問題の形式や一般的な内容を受験者に理解していただくために掲載しています。

ここに示す設問は予想される出題形式を表していますが、必ずしも実際の試験の内容を忠実に映したものではありません。

さらに、下記のサンプル問題に正しく解答できたとしても、実際の試験に合格する能力があると予想または保証されるわけではありません。

### WELL AP のサンプル問題

1. 次のうち、「コア&シェル」、「新築および既存のインテリア」、「新築および既存の建物」のすべてのプロジェクトに適用される必須項目はどれですか？

- (A) 評価項目 01 「空気質基準 (Air Quality Standards)」
- (B) 評価項目 09 「清掃手順 (Cleaning Protocol)」
- (C) 評価項目 12 「湿気の管理 (Moisture Management)」
- (D) 評価項目 14 「気密性管理 (Air Infiltration Management)」

この問題は、ナレッジドメイン 8Ai：「WELL 認証」、「計画と準備」、「WELL Building Standard の構成（例：コンセプト、必須項目、評価項目、WELL 認証のレベル、採点）」の代表例です。

2. あるプロジェクトで、入口ダストマットの常設 (Permanent Entryway Walk-Off Systems) と進入通路の気密性 (Entryway Air Seal) が実施されています。評価項目 08 「健康に配慮した入口 (Healthy Entrance)」への適合について、これらの要件はどのように評価されますか？

- (A) デザイナーが注釈付きの建築図面を提出しなければならない。
- (B) 建築家が確約書を提出しなければならない。
- (C) **WELL アセッサーが目視による検査を実施する。**
- (D) WELL AP がスポットチェックを行う。

この問題は、ナレッジドメイン 9Bi：「相乗効果」、「適用と教育」、「WELL Building Standard の個々の評価項目に対するプロジェクトチームの役割と責任」の代表例です。

## 問い合わせ先

WELL Online では、WELL AP 試験の申し込み、登録、その他 WELL 関連の問い合わせを 24 時間いつでも行うことができます。

[gbc.org/contact](http://gbc.org/contact) では、WELL AP 試験やその他 WELL 関連の問い合わせを 24 時間いつでも行うことができます。

**コールセンター**：1-800-795-1746（米国内）または +1-202-828-1145（米国外）。コールセンターは、月～金曜日の東部標準時 9:00 から 19:00 まで、試験の登録やその他 WELL AP 試験関連の質問を受け付けています。

[Prometric.com/gbc](http://Prometric.com/gbc) では、試験日程の決定、日程の変更、予約の確認を 24 時間いつでも行うことができます。試験の日程を決定するには、事前に GBCI への申請と登録が必要です。日程の変更、キャンセル、または予約の確認には、プロメトリックが発行する 16 桁の確認番号が必要です。

### プロメトリックコールセンター

北米	
カスタマーサービス：予約を設定、変更、キャンセル、確認する場合、または試験に関する全般的な情報が知りたい場合（月～金曜日、東部標準時 8:00～20:00 [グリニッジ標準時 -5 時間]）	888 215 4154
受験者ケア：プロメトリックとの間で何らかの問題が発生した場合（月～金曜日の東部標準時 8:00～21:00、土曜日の東部標準時 9:00～17:00 [グリニッジ標準時 -5 時間]）	800 853 6769
グループ登録（受験者 5 名以上）	800 774 1292
特別措置（障害のある受験者）	800 967 1139
Fax	800 853 6781
ラテンアメリカ	
予約を設定、変更、キャンセル、確認する場合、または試験に関する全般的な情報が知りたい場合	+1 443 751 4995
アジア太平洋	
中国（月～金曜日 8:30～19:00 [グリニッジ標準時 +10:00 時間]）	+86 10 62799911
インド（月～金曜日 9:00～17:30 [グリニッジ標準時 +5:30 時間]）	91 124 4147700
日本（月～金曜日 8:30～19:00 [グリニッジ標準時 +10:00 時間]）	0120 347737
韓国（月～金曜日 8:30～19:00 [グリニッジ標準時 +10:00 時間]）	1566 0990
オーストラリア、香港、インドネシア、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、およびその他のアジア太平洋諸国（月～金曜日 8:00～20:00 [グリニッジ標準時 +8:00 時間]）	603 7628 3333
ヨーロッパ、中東、アフリカ：	
ヨーロッパ	31 320 239 540
中東（日～木曜日）	31 320 239 530
北アフリカ（日～木曜日）	31 320 239 530
サハラ以南のアフリカ諸国	31 320 239 593